

平成20年6月20日

貧酸素水塊速報 (2008年)

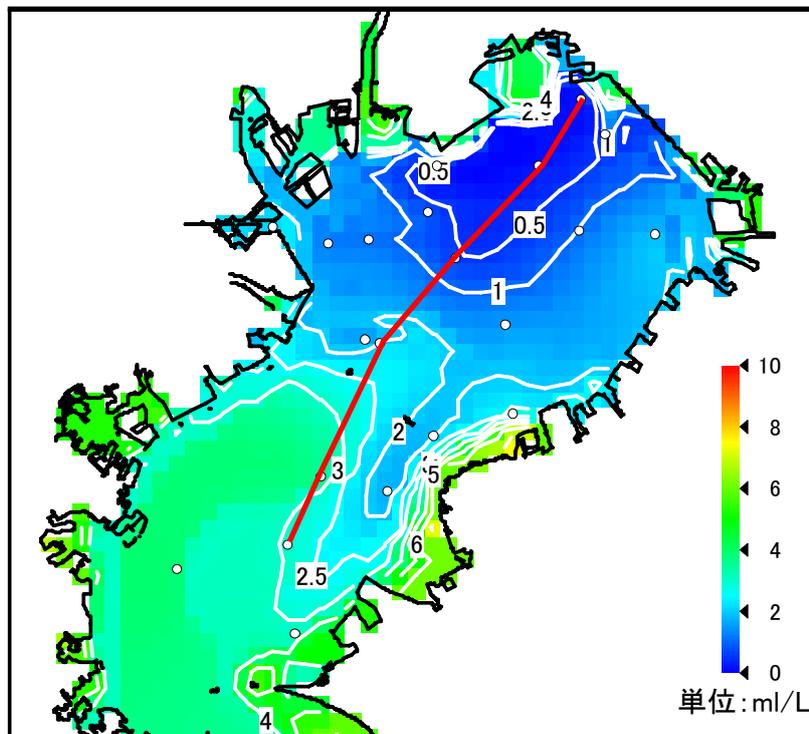
- 千葉県水産総合研究センター(編集)
- 協力:海上保安庁海洋情報部
- 神奈川県水産技術センター
- 協力:千葉県環境研究センター
- 内湾底びき網研究会連合会(千葉県)
- 協力:東京都環境局
- 協力:第三管区海上保安本部

平成20年6月16日観測結果

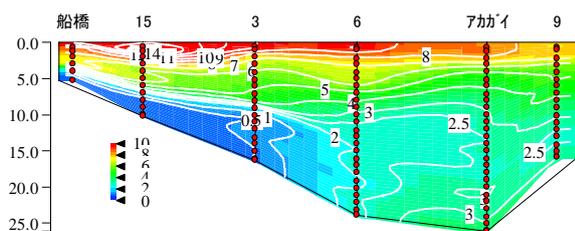
貧酸素水塊は、内湾北部ほぼ全域及び盤洲・君津周辺に分布していました。湾奥には、0.5ml/L以下の無酸素水に近い海域も見られました。縦断ラインにおける貧酸素水塊の割合は、これまでは例年(直近8年平均)より低めでしたが、急激に増加し例年以上となりました。

濃い赤潮は、引き続き内湾のほぼ全域に見られ、水色は褐～紅色を呈し、透明度は1.5m以下でした。赤潮が特に濃い湾奥では、植物プランクトンはほぼヘテロシグマ アカシオ(*Heterosigma akashiwo*)単一組成となっていました。

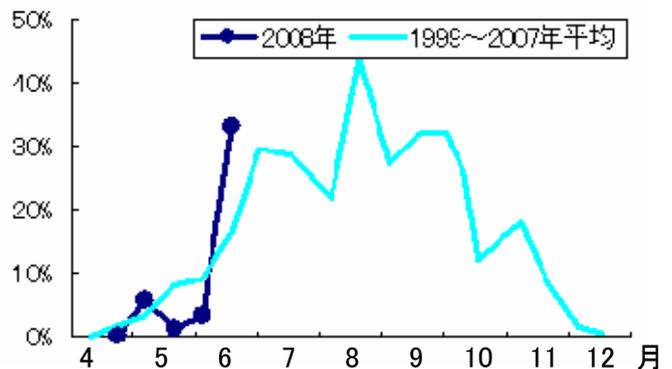
水温は表層20～24℃、底層16～19℃、表層と底層の水温差は4～5℃に達しました。



底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ラインを表す)



湾軸縦断ライン(上図赤線)におけるDOの鉛直分布



縦断ラインでのDO鉛直分布(左図)のうち貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合